



学校だより

平成 30 年度 10 月号
平成 30 年 9 月 28 日
さいたま市立大谷口中学校

【学校教育目標】 かしこく 美しく たくましく

歌声の響く学校

校長 柳澤 登紀男

ひと雨ごとに涼しくなり、本格的な秋の到来を感じます。「実りの秋」、生徒会活動や部活動など、中心は3年生から1・2年生へと引き継がれています。3年生引退後の新メンバーで臨んだ野球部は、9月22日に行われた文部科学大臣杯全日本春季少年軟式野球大会県大会で見事優勝し、来年3月に開催される全国大会に埼玉県代表として出場します。9月25日からの硬式テニス、26日からの陸上競技を皮切りに市中学校新人体育大会も始まっています。これから、文化面でも運動面でも様々なところで本校生徒のすばらしい成果が期待できそうです。

さて、今、本校では、10月18日の合唱コンクールに向け、あちらこちらから歌声が聞こえてきます。音楽の授業を終え、教室に戻る生徒たちが校長室の前を通る際に、練習したパートのフレーズを口ずさみながら歩いてきます。「歌声の響く学校はすばらしい」素直な心で一生懸命歌う生徒がたくさんいることに感激し、またその生徒を誇りに思います。

大谷口中生の歌声を聞いていると、その曲とともに、かつての、自分がいた学校、学年、担任していたクラス、生徒の顔がふと思い出されます。生徒との数々の出会い、様々なかかわりあい、楽しいこと、うれしいこと、悲しいこと、何十年も前の思い出が一気に蘇ります。歌のもつ力に改めて驚きを覚えます。合唱への真剣な取組を通して、生徒も教職員もすばらしい「宝物」を、是非手に入れて欲しいと願う毎日です。

今年度の合唱コンクール、スローガンは「華唱(かしょう)～魅せよ、我らの歌声で～」です。

当日、素晴らしい歌声が、さいたま市文化センター大ホールに響き渡っていることを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様には、ご多用の事とは存じますが、ご来場いただき生徒のひたむきな発表をご覧くださいませようお願い申し上げます。

また、引き続き、本校生徒の成長を見守り支えていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、合唱祭プログラムのあいさつ文を載せ、ひたむきに取り組む生徒たちへのエールとします。

「魅せよ、我らの歌声で」

歌は、歌う人の気持ちを素直に表わす。
歌は、つくった人の思いを聴く人に届ける。
歌は、一緒に歌う人との絆を深める。
歌は、歌いそして聴いた人の思い出を鮮やかに蘇らせる。
すばらしい歌は、すばらしい歌声は、
聴く人に感動を与える。
だから、
作者の思いを、自分のひたむきさを、
仲間への思いやりを、歌うことの喜びを
それらすべてを込めて、「魅せよ 我らの歌声で」。

